

第3編 総合戦略



子育て支援センターでの風景

第1章 第2期毛呂山町総合戦略の施策体系

わが国では人口減少や大都市圏への人口集中が大きな課題となっています。この課題に対応するため、国ではまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しています。毛呂山町においても毛呂山町総合戦略を策定し、各種施策を推進してきました。

この毛呂山町総合戦略の計画期間が令和元年度をもって終了することから、国の第2期総合戦略の基本的な内容を踏まえつつ、第2期毛呂山町総合戦略を策定します。本町の人口減少問題に対応するためには、出生率上昇につながる施策への取り組みが人口減少に歯止めをかけるうえで効果的であることから、本町の総合戦略においては特に子育て世代をターゲットとし、自立的かつ持続的な人口減少対策の推進を目指します。

施策体系については以下のとおりです。

基本目標	施策に関する基本的方向	具体的施策
産業の活性化と雇用の創出	<ul style="list-style-type: none"> ○企業誘致の推進による地域経済の発展 ○地場産業の振興と人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ①企業誘致の推進や町内産業の活性化 ②農業・産業後継者の支援及び育成
新しい人の流れの創出	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村交流の促進 ○新たな交流や観光の推進 ○定住促進のための環境整備 ○シティプロモーションの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①市町村交流の促進 ②新しい交流や集客の推進 ③定住を促進する支援制度の充実や住環境の整備 ④毛呂山町の魅力発信
若い世代の希望をかなえる	<ul style="list-style-type: none"> ○結婚から子育てまでの切れ目ない支援 ○学校教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ①出会いの場の創出 ②安心して出産・子育てができる環境整備 ③学校教育の充実
安心して暮らせる魅力あるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○協働によるまちづくり ○医療と福祉を活かした健康づくりの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ①住民との協働や地域との連携による安心なまちづくり ②健康長寿のまちづくり

第2章 具体的施策の展開

第1節 産業の活性化と雇用の創出

人口の社会減少を抑制するためには、若い世代を中心とした定住の促進を図ることや転入増加につながる基盤が必要です。また、町内の産業育成により、魅力ある地域づくりや雇用の創出につながります。

基本目標 (数値目標)	町内事業所従業者数	現状値	目標値
		平成30年度	令和6年度
		11,649人	12,230人
	先端産業実証事業件数	現状値	目標値
平成30年度		令和6年度	
—		10件	
施策に関する 基本的方向	○企業誘致の推進による地域経済の発展 ○地場産業の振興と人材の育成		

【具体的施策】

①企業誘致の推進や町内産業の活性化			
重要業績評価指標 (KPI)	産業系土地利用区域*への 進出企業	現状値	目標値
		平成30年度	令和6年度
		—	5件
主な事業	◆産業系土地利用区域の新規指定 企業誘致促進のために産業系土地利用区域の新規指定を実施します。		
	◆企業誘致促進条例による支援 企業誘致促進条例に基づき、施設設置や町内在住者の雇用、従業員の転入に対する優遇措置を行います。		
	◆町内新規創業者・新規事業開拓の支援 町内での新規創業及び先端産業*をはじめとする事業開拓に対する支援を行います。また、先端産業の育成につながる基盤整備を行います。		

*産業系土地利用区域：市街化を抑制すべき区域内においても、地区計画などの手法を用いて、開発が行えるように指定した区域。

*先端産業：コンピューター・バイオテクノロジー・ロケットなど高度な技術や先端的な技術を中心とした産業。

②農業・産業後継者の支援及び育成			
重要業績評価指標 (KPI)	ゆずの加工品目数	現状値	目標値
		平成30年度	令和6年度
		30品目	40品目
主な事業	<p>◆桂木ゆずのブランド化 日本最古のゆずの産地として地域ブランド力を高めます。 また、ゆず農家の後継者育成を目指します。</p>		
	<p>◆農業後継者の育成 毛呂山町で農業経営を始めようとする農業者や、新規就農希望者への支援を行います。</p>		
	<p>◆町内特産品や加工品開発等への支援 地元農産物を使った商品開発や開発した商品のPRについて、大学や民間企業などと連携しながら支援を行います。</p>		

第2節 新しい人の流れの創出

町外の方が本町に来訪する契機となるよう地域資源を活かし、その魅力を高めていきます。若い世代が本町への転入を検討するにあたり、町の魅力を感じてもらうことが、転入促進につながると考えられます。交流機会の増加により、本町の良さを多くの方に知ってもらう取り組みを進めます。また、町外の方が地域と継続的につながる関係人口の増加や移住定住の促進を図ります。

基本目標 (数値目標)	入込観光客数	現状値	目標値
		平成30年度	令和6年度
		71万3千人	80万人

施策に関する 基本的方向	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村交流の促進 ○新たな交流や観光の推進 ○定住促進のための環境整備 ○シティプロモーションの推進
-----------------	--

【具体的施策】

①市町村交流の促進			
重要業績評価指標 (KPI)	地域間交流事業数	現状値	目標値
		平成30年度	令和6年度
		9件	12件
主な事業	<p>◆地域間交流事業 本町の魅力を多くの方に知ってもらうよう、地域間交流を促進します。</p>		
	<p>◆川越都市圏まちづくり協議会での各種事業 川越都市圏まちづくり協議会の各種事業を通して、交流機会の増加を目指します。</p>		

②新しい交流や集客の推進			
重要業績評価指標 (KPI)	入込観光客数	現状値	目標値
		平成30年度	令和6年度
		71万3千人	80万人
主な事業	◆商店街実施イベント等への支援 商店街実施イベント等への支援を行います。		
	◆観光協会への支援 観光協会への支援や連携の強化により、町の活性化を図ります。		
	◆観光地整備事業 観光案内板の新設や修繕、老朽化した観光施設などの改修を行います。 また、観光資源の整備や魅力についての周知に努めます。		
	◆流鏝馬祭りの伝統継承・PR 流鏝馬祭りの伝統を継承し、町の魅力として多くの人に知ってもらうよう、 ホームページやSNS*などを活用して全国に情報発信していきます。また、 観光客に満足してもらえるよう支援を行います。		

* SNS：ソーシャルネットワーキングサイトの略。友人・知人間のコミュニケーションを円滑にしたり、新たな人間関係を構築するための場を提供するインターネット上の会員制サービス的一种。

③定住を促進する支援制度の充実や住環境の整備			
重要業績評価指標 (KPI)	施策※による定住者数 ※三世帯同居、近居の支援及び空き家の利活用に対する支援の事業実績による。	現状値	目標値
		平成30年度	令和6年度
		—	75人
主な事業	◆三世帯同居、近居の支援 親と同居、もしくは親の近くに住居を移す場合の助成を行います。		
	◆空き家・空き店舗の利活用 空き家の利活用や定住促進を目指し、空き家の活用に対して助成を行います。また、空き店舗を活用した創業に対する支援を行います。		
	◆中心市街地・東部エリアの整備 中心市街地の活性化や駅周辺の整備を進め、コンパクトなまちを目指します。また、川角駅周辺地区の整備に努めます。		
	◆公共交通網の整備 日常生活に必要な移動手段の確保に努めます。また、町内循環バスの利便性向上のために改善を図ります。鉄道に関しては、利便性の向上を図るため、八高線活性化促進協議会、越生線改善対策協議会などにより鉄道事業者及び関係機関への要望を行います。		

④毛呂山町の魅力発信			
重要業績評価指標 (KPI)	町ホームページ閲覧数	現状値	目標値
		平成30年度	令和6年度
		3,551,691件	3,800,000件
	SNS等登録者数	現状値	目標値
		平成30年度	令和6年度
		9,200人	15,000人
主な事業	<p>◆ホームページ活用事業 町ホームページのリニューアル、コンテンツの充実を図り、全国に毛呂山町の魅力を発信していきます。</p>		
	<p>◆SNS活用事業 LINE、Twitter、Facebook、YouTubeなどを活用・展開して町の情報を発信していきます。</p>		

第3節 若い世代の希望をかなえる

若い世代の定住促進を図るために、「結婚してこの町に住みたい」「住み続けたい」と思ってもらえるまちづくりを目指します。結婚や出産、また子育ての各時期を支援する取り組みを行い、若い世代の近隣自治体への転出の抑制や転入の促進を図ります。

基本目標 (数値目標)	住民意向調査による若い世代*の定住意向 ※住民意向調査における年齢区分30歳代以下	現状値	目標値
		平成30年度	令和6年度
		65.4%	70.0%

施策に関する基本的方向	<ul style="list-style-type: none"> ○結婚から子育てまでの切れ目ない支援 ○学校教育の充実
-------------	--

【具体的施策】

①出会いの場の創出			
重要業績評価指標 (KPI)	結婚支援事業参加者数	現状値	目標値
		平成30年度	令和6年度
		—	250人
主な事業	<p>◆婚活イベント事業（川越都市圏まちづくり協議会） 川越都市圏まちづくり協議会による婚活イベント事業により、男女の出会いの場を提供します。</p>		
	<p>◆結婚支援制度の充実 結婚を希望する独身男女に対し、「赤い糸見つけ隊」の活用や結婚支援に関する事業を実施します。また、SAITAMA 出会いサポートセンターや川越都市圏まちづくり協議会による婚活イベント等の情報提供を行います。</p>		

②安心して出産・子育てができる環境整備			
重要業績評価指標 (KPI)	住民意向調査による若い世代※ の定住意向 ※住民意向調査における年齢区分30歳代以下	現状値	目標値
		平成30年度	令和6年度
		65.4%	70.0%
主な事業	◆不妊治療費助成事業 少子化対策のひとつとして不妊治療にかかる費用の一部を、埼玉県の補助金に追加して交付します。		
	◆子育て支援金 次世代を担う児童の健全育成と子育て家庭の経済的負担の軽減を目的に支援金を交付します。		
	◆地域子育て支援拠点事業 子育て中の親同士の相談や情報交換、交流ができる場の提供や環境整備、養育や子育てに関する相談や情報提供の実施など、地域で子育てを支え合う環境づくりを行います。		
	◆ファミリー・サポート・センター事業 地域の中で安心して子育てができる環境づくりを目指し、ファミリー・サポート・センター事業を推進します。		
	◆子育て世代包括支援センターによる支援 子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠、出産から子育て期まで切れ目ない支援を行います。		

③学校教育の充実			
重要業績評価指標 (KPI)	埼玉県学力・学習状況調査 で前年度から学力が伸びた 児童生徒の割合	現状値	目標値
		平成30年度	令和6年度
		(国語) 61.8%	(国語) 65.0%
		(算数・数学) 66.1%	(算数・数学) 70.0%
主な事業	コミュニティ・スクールに 関する教職員・児童生徒 アンケート	現状値	目標値
		平成30年度	令和6年度
		—	80.0%
		<p>◆小中一貫教育の推進 義務教育9年間を見通して、連続性のある教育課程を編成し、「いのちの教育」を通して子どもの「生きる力」や「確かな学力」を育成します。そして子どもの学びの連続性について、小中学校教職員の相互理解を進め、学習指導・生徒指導等の充実・改善を図ります。</p> <p>◆コミュニティ・スクールの推進 小中一貫教育とそれを支えるコミュニティ・スクール※の推進により、毛呂山町で学ぶすべての子どもが健やかに成長するよう、学校と地域の連携により子どもを育てていきます。</p>	

※コミュニティ・スクール:学校運営協議会を設置している学校で、教育委員会が指定する学校。学校の課題に対して、広く保護者や地域住民が参画し、協働して子どもたちの健やかな成長を支えていく仕組みのこと。毛呂山町では令和元年度から毛呂山中学校区と川角中学校区に学校運営協議会を設置し、町立小中学校をコミュニティ・スクールに指定。

第4節 安心して暮らせる魅力あるまちづくり

若い世代が安心して子育てを行うことができるまちは、あらゆる世代の町民にとって住みよいまちであると考えます。町民が健康で安心な暮らしを送るための取り組みを推進し、町の魅力を高めるとともに、子育て世代のみでなく、あらゆる世代にやさしいまちづくりを推進します。

基本目標 (数値目標)	住民意向調査による定住意向	現状値	目標値
		平成30年度	令和6年度
		75.2%	80.0%

施策に関する 基本的方向	<ul style="list-style-type: none"> ○協働によるまちづくり ○医療と福祉を活かした健康づくりの支援
-----------------	--

【具体的施策】

①住民との協働や地域との連携による安心なまちづくり			
重要業績評価指標 (KPI)	地域見守りネットワーク結成数	現状値	目標値
		平成30年度	令和6年度
		11 地区	17 地区
	自主防災組織結成行政区数	現状値	目標値
		平成30年度	令和6年度
		42団体	69団体
主な事業	<p>◆地域見守りネットワーク結成促進 「我が事・丸ごと」の地域共生社会実現のためのひとつとして、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成するための体制づくりを推進します。</p>		
	<p>◆自主防災組織の育成支援 住民の防災意識を高め、災害に素早く対応できるよう、自主防災組織の結成を支援し、全行政区での組織化を目指します。</p>		

②健康長寿のまちづくり			
重要業績評価指標 (KPI)	健康寿命の延伸	現状値	目標値
		平成30年度	令和6年度
		男性：17.67歳 女性：20.85歳	男性：18.67歳 女性：21.85歳
主な事業	◆一般介護予防事業 高齢者の介護予防と社会参加を推進し、生きがいや役割を持って生活することができるよう事業を実施します。		
	◆介護予防・生活支援サービス事業 高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、介護予防事業及び生活支援サービス事業を推進します。		
	◆包括的支援事業の実施 地域包括ケアシステムの深化・推進に向け、地域包括支援センターを中心として、包括的支援事業を実施します。		
	◆各種健診（検診）事業 生活習慣病予防・早期発見及び重症化予防のために、各種健診（検診）・保健指導等を実施します。		
	◆高齢者の活動・交流の場の創出 埼玉医科大学をはじめとする関係機関との連携により、高齢者の活動や交流の場を創出し、元気な高齢者を増やす取り組みを進めます。		

